

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【公開番号】特開2002-138067(P2002-138067A)

【公開日】平成14年5月14日(2002.5.14)

【出願番号】特願2001-241511(P2001-241511)

【国際特許分類第7版】

C 07 C 67/08

C 07 C 69/003

C 07 C 69/013

C 07 C 69/753

// C 07 B 61/00

【F I】

C 07 C 67/08

C 07 C 69/003 D

C 07 C 69/013 D

C 07 C 69/753 C

C 07 C 69/753 Z

C 07 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月8日(2005.8.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

モノカルボン酸と、3級アルコールよりなる混合液中に、触媒の存在下、3級アルコールとエステル交換し得る一価の酸基を有するエステル化剤を逐次添加することを特徴とする一般式1で示されるモノカルボン酸3級-アルキルエステルの製造方法。

【化1】



一般式1

(式中、R₁は炭化水素基を表し、R₂は3級飽和炭化水素基を表す。)

【請求項2】

3級アルコールとエステル交換し得る一価の酸基を有するエステル化剤が、一般式2で示されるハロゲン化芳香族スルホニルであることを特徴とする、請求項1記載のモノカルボン酸3級-アルキルエステルの製造方法。

【化2】



一般式2

(式中、Xはハロゲン原子を表し、Arはベンゼン環又は炭素数1~3のアルキル置換ベンゼン環を表す。)

【請求項3】

触媒が3級アミド類であることを特徴とする、請求項1記載のモノカルボン酸3級-アルキルエステルの製造方法。

【請求項4】

塩基を共存させてなることを特徴とする、請求項1記載のモノカルボン酸3級-アルキルエステルの製造方法。

【請求項5】

一般式 R_1COOH のカルボン酸と一般式 XSO_2Ar の芳香族スルホン酸ハライドを反応させ、一般式 R_1COOSO_2Ar の一価の酸基を有するエステル化物を生成させ、3級アミド触媒の存在下でそのエステル化物と一般式 R_2OH の3級アルコールとを反応させることを特徴とするモノカルボン酸3級-アルキルエステルの製造方法。

(なお、 R_1 、 R_2 、 X 及び Ar については、一般式1及び2のそれと同じである。)
)